

【様式3】事業評価個票

事業名	農林水産デジタル化推進事業費【G3】		開始/終了(予定)年度	令和3 / 令和6			活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度(最終目標)	
部局・担当課名	農林水産部農業技術環境課					①低温アラート登録者数(年度末累計、開始時登録者は240人)			活動実績	人	633	897		
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2]競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策1]やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成					活動実績及び活動実績(アウトプット)	当初見込み	人	700	1,000	1,400		1,400
	施策	[施策4]スマート農業の展開						②	活動実績					
	目標指標	新規就農者数の東北における順位		R6年度 東北1位			当初見込み							
事業の目的	担い手不足や他産地との競争に打ち勝つため「みんなが使えるスマート農林水産業」の実現に向けた、大規模なデジタル技術の実装を図る。						③	活動実績						
								当初見込み						
事業概要(令和5年度の実施内容)	(1)IoT気象センサーによるリアルタイムデータを活用した収穫や病害発生等の予測・水稲、果樹、野菜の圃場において、小型気象観測装置での環境モニタリングにより、収穫予測や病害発生の予測を行うほか、降霜対策実施のための低温アラートシステムを運用						成果指標(所管部局の分析)	活動実績						
	(2)環境制御装置による野菜パイプハウス栽培の省力化・収量向上 ・本県で主流のパイプハウスに環境制御装置を装備して栽培管理を自動化し、省力化を図り収益性の向上効果を実証							①スマート農業の取組件数(累計)	成果実績	件	134	211		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ()						成果指標及び成果実績(アウトカム)	目標値	件	120	135	150	150	
	上記実施方法とする理由：県が構築したシステムの実証段階の取組であるため							達成度	%	112%	156%	0%	0%	
	予算見積書グループ名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	②	成果実績						
当初予算額(単位:千円)	① 新たな環境モニタリングの現地実装	—	11,618	3,988	3,877	3,345	活動指標及び成果指標設定の考え方	目標値						
	②							達成度	%					
	③							③	成果実績					
	④								目標値					
	計	—	11,618	3,988	3,877	3,345		達成度	%					
財源内訳(単位:千円)	国庫支出金		5,746	1,932	1,877		本事業による取組状況は、県が構築した降霜対策のための低温アラートシステムの活用状況によって明らかになることから、低温アラートの登録者数を活動指標として設定した。また、本事業は実証や関連事業における成果、研修等を通じて、スマート農業技術への理解を深め、農業分野におけるスマート農業技術の現場への導入・実装を図ることを目的としているため、県内のスマート農業の取組件数を成果指標として設定した。	成果実績						
	県債							目標値						
	その他特定財源							達成度	%					
	一般財源		5,872	2,056	2,000	3,345		成果実績						
計	—	11,618	3,988	3,877	3,345		目標値							

事業所管部局による評価・検証(令和6年6月)

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	
事業の必要性	A	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果指標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	課題
事業の効率性	A	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	
事業の達成度(有効性)	A	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	今後の対応
	B	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	
	A	成果実績は成果指標に見合ったものとなっているか。	

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」